

地域計画

策定年月日	令和6年9月30日
更新年月日	()
目標年度	令和14年度
市町村名 (市町村コード)	近江八幡市 (252042)
地域名 (地域内農業集落名)	白王町 (白王)

注:「地域名」欄には、協議の場が設けられた区域を記載し、農林業センサスの農業集落名を記載してください。

1 地域における農業の将来の在り方

(1) 地域計画の区域の状況

区域内の農用地等面積(農業上の利用が行われる農用地等の区域)	50.1 ha
① 農業振興地域のうち農用地区域内の農地面積	50.1 ha
② 田の面積	49.1 ha
③ 畑の面積(果樹、茶等を含む)	1 ha
④ 区域内において、規模縮小などの意向のある農地面積の合計	8.1 ha
⑤ 区域内において、今後農業を担う者が引き受ける意向のある農地面積の合計	8.1 ha
(参考)区域内における70才以上の農業者の農地面積の合計	6.6 ha
うち後継者不在の農業者の農地面積の合計	0.8 ha
(備考)	

注1:①については、農業振興地域担当部局と調整の上、記載してください。

2:②及び③については、農業委員会の農地台帳の面積(現況地目)に基づき記載してください。

3:④については、規模縮小又は離農の意向のある農地面積を記載してください。

4:⑤については、区域内に特定することができない場合には、引き受ける意向のあるすべての農地面積を記載の上、備考欄にその旨記載してください。

5:(参考)の区域内における70才以上の農業者の農地面積等については、できる限り記載するように努めてください。

6:「区域内の農用地等面積」に遊休農地が含まれている場合には、備考欄にその面積を記載してください。

(2) 地域農業の現状及び課題

現在、集落営農組合員の38人中28人が集落営農組合に集約され、残り10人の組合員が耕作をしている。5年～10年後にはほとんどの農家の経営が厳しくなってくる。

(3) 地域における農業の将来の在り方(作物の生産や栽培方法については、必須記載事項)

将来は1集落1農場を目指していきたい。

2 農業の将来の在り方に向けた農用地の効率的かつ総合的な利用に関する目標

(1) 農用地の効率的かつ総合的な利用に関する方針

農地バンクへの貸し付けを進めつつ、集落の特産物である米・麦・豆を段階的に有機農業に切り替え、団地化を形成する。

※集落営農組合の目的は、地域みんなで集落の農地を守ることに組織の構築化を図る。

(2) 担い手(効率的かつ安定的な経営を営む者)に対する農用地の集積に関する目標

現状の集積率	65.9 %	将来の目標とする集積率	84.2 %
--------	--------	-------------	--------

(3) 農用地の集団化(集約化)に関する目標

現状の集積率団地数の20%を削減したい。

3 農業者及び区域内の関係者が2の目標を達成するためとるべき必要な措置

(1)農用地の集積、集団化の取組
総会等の場で、取り組みの必要性を説明していく。
(2)農地中間管理機構の活用方法
離農される際に農地中間管理機構の活用について説明している。
(3)基盤整備事業への取組
総会等の場で説明し、10年後を目標に取り組む。
(4)多様な経営体の確保・育成の取組
土日を利用して40代以下の男女を担い手として確保、育成している。
(5)農業協同組合等の農業支援サービス事業者等への農作業委託の取組
作業の効率が図れる防除等は、島学区改良組合に任せている。

以下任意記載事項(地域の実情に応じて、必要な事項を選択し、取組内容を記載してください)

<input checked="" type="checkbox"/> ①鳥獣被害防止対策	<input checked="" type="checkbox"/> ②有機・減農薬・減肥料	<input type="checkbox"/> ③スマート農業	<input type="checkbox"/> ④畑地化・輸出等	<input type="checkbox"/> ⑤果樹等
<input type="checkbox"/> ⑥燃料・資源作物等	<input type="checkbox"/> ⑦保全・管理等	<input checked="" type="checkbox"/> ⑧農業用施設	<input type="checkbox"/> ⑨耕畜連携等	<input type="checkbox"/> ⑩その他

【選択した上記の取組内容】

- ①地域による鳥獣被害対策の集落点検マップ(侵入防止柵や檻の設置状況、放置果樹や目撃・被害発生場所等)づくりや、連絡網の整備、新たな捕獲人材を募集し、地域で育成していく。
- ②水稻を段階的に有機農業に切り替えていく。
- ⑧担い手の営農や農業を担うものの利用状況などを考慮の上、出荷・調製施設を整備し、農業用施設の集約化を進める。

4 地域内の農業を担う者一覧(目標地図に位置付ける者)

属性	農業を担う者 (氏名・名称)	現状			10年後 (目標年度:令和14年度)				
		経営作物等	経営面積	作業受託面積	経営作物等	経営面積	作業受託面積	目標地図上の表示	備考
認農		水稻・麦	28.84 ha	ha	水稻・麦	38 ha	ha		
利用者		水稻	3.8 ha	0.076 ha	水稻	3.8 ha	0.076 ha		
利用者		水稻	3.7 ha	ha	水稻	3.7 ha	ha		
利用者		水稻	2.2 ha	1 ha	水稻	ha	2.3 ha		
利用者		水稻	1.9 ha	0.5 ha	水稻	1.9 ha	0.5 ha		
認農		水稻	1.52 ha	ha	水稻	1.52 ha	ha		
利用者		水稻	1.11 ha	ha	水稻	0.8 ha	ha		
認農		水稻	1.03 ha	ha	水稻	1.03 ha	ha		
利用者		水稻	0.9 ha	ha	水稻	0 ha	1.5 ha		
利用者		水稻	0.85 ha	ha	水稻	0.85 ha	ha		
認農		水稻	0.75 ha	ha	水稻	0.75 ha	ha		
認農		水稻	0.58 ha	ha	水稻	0.58 ha	ha		
利用者		水稻	1.9 ha	0.8 ha	水稻	0 ha	2.7 ha		
認農		水稻	0.31 ha	ha	水稻	0.31 ha	ha		
利用者		水稻	0.29 ha	ha	水稻	0.29 ha	ha		
利用者		水稻	0.06 ha	ha	水稻	0.06 ha	ha		
計	16経営体		49.68 ha	2.376 ha		53.59 ha	7.076 ha		

注1:「属性」欄には、認定農業は「認農」、認定新規就農者は「認就」、法人化を行うことが確実であると市町村が判断する集落営農は「集」、基本構想水準到達者は「到達」、農業協同組合は「農協」、農業支援サービス事業者(農協を除く)は「サ」、上記に該当しない農用地等を継続的に利用する者は「利用者」の属性を記載してください。

2:「経営面積」「作業受託面積」欄には、地域計画の対象地域内における農業を担う者の経営面積、作業受託面積を記載してください。

3:農業を担う者に位置付ける場合は、できる限りその者から同意を得ていること。

4:作業受託面積には、基幹3作業の実面積を記載してください。なお特定農作業受託面積は、作業受託面積に含めず、経営面積に含めてください。

5:備考欄には、農業を担う者として位置付けられた者に不測の事態に備えて、代わりに利用する者を記載するよう努めてください。

5 農業支援サービス事業者一覧(任意記載事項)

番号	事業体名 (氏名・名称)	作業内容	対象品目
1		防除作業	水稻

6 目標地図(別添のとおり)